

平成 2 5 年

壱岐市議会定例会 6 月会議

行政報告

壱岐市

目 次

はじめに

- (1) 全国離島振興協議会総会について 1
- (2) 壱岐市庁舎建設検討委員会について 3

交流人口の拡大

- (1) 観光振興について 3
- (2) イベントについて 5
- (3) 地域おこし協力隊について 5

産業の振興

- (1) 農業の振興について 6
- (2) 水産業の振興について 7

市民

- (1) 市税等の収入状況について 8
- (2) 介護保険施設等の整備について 9
- (3) 予防接種事業について 10

建設

- (1) 安全・安心な住環境づくり支援事業について 11
- (2) 壱岐市公営住宅等長寿命化計画について 11

教育

- (1) 学校教育について 12
- (2) 社会教育について 12
- (3) 長崎がんばらんば国体2014について 13

病院事業

- (1) 壱岐市民病院について 14

防災・消防・救急

- (1) 防災対策について 15
- (2) 消防・救急について 16

議案説明

- (1) 補正予算について 17
- (2) その他の議案について 18

おわりに 19

行政報告

平成25年壱岐市議会定例会6月会議

はじめに

本日ここに、平成25年壱岐市議会定例会6月会議にあたり、前会議以降、今日までの市政の重要事項等及び今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、平成25年春の褒章^{ほうしょう}、叙勲の発表において、長年、司法書士としてご活躍されている高岡昭壽^{たかおか あきとし おうじゅほうしょう}様が黄綬褒章を受章されました。また、教育功勞として元中学校校長福田敏^{ふくだ さとし}様が、地方自治功勞として、元石田町助役百崎貞明^{ももさき さだあき}様が、それぞれ瑞宝双光章^{ずいほうそうこうしょう}を受章され、消防功勞として元石田町消防団長梅田鐵男^{うめだ てつお ずいほう}様が瑞宝单光章^{たんこうしょう}を受章されました。

さらに、危険業務従事者叙勲の防衛功勞として、元1等陸尉小島國光^{こじま くにみつ ずいほうそうこうしょう}様が瑞宝双光章を受章されました。今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、この度の榮譽を心からお慶び申し上げます。

それでは、前定例会以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

(1) 全国離島振興協議会総会について

去る、5月29日、30日の両日、全国離島振興協議会通常総会

が本市で開催され、全国 139 会員(全域離島会員数 33)中、56
の市町村長をはじめ、衆議院議員自由民主党離島特別委員会事務局
長 宮腰 光寛様、参議院議員 木庭 健太郎様、国土交通省官房審議
官 渡延 忠様、長崎県知事 中村 法道様ほか多くのご来賓のご臨席
を賜り、合計 120 名の皆様にご来島いただきました。

本総会では、全国離島の悲願であります、離島航路・航空路支援
の抜本拡充に関する特別決議等を採択しました。離島航路運賃の低
廉化による J R 並み運賃の実現を、今後さらに、そして強力に、政
府、国会に要望してまいります。

また、本総会において、私は、引き続き全国離島振興協議会会長
に就任いたしました。全国離島の最重要課題は、只今申し上げまし
たとおり「離島航路・航空路」をはじめとした交通問題の解決であ
り、距離的・時間的格差は如何ともし難い面がありますが、交通コ
スト格差の解決なくして離島振興は語ることは出来ないものであり
ます。

離島航路運賃の J R 並運賃の実現、低廉化の実現が、離島振興の
根幹として、大きく寄与するものであり、今後も最大かつ喫緊の課
題として、全力で取り組んでまいります。

また、離島甲子園と称される国土交通大臣杯全国離島交流中学生
野球大会が、本年 8 月 19 日から 22 日にかけて、壱岐市で開催さ
れます。全国から本市を含め 22 チーム約 440 人の参加を予定し
ており、本大会の開催によりまして、全国離島の子どもたちの交流
が深まるとともに、壱岐市の P R 及び交流人口の拡大に繋がること

を期待しております。

(2) 壱岐市庁舎建設検討委員会について

去る5月27日、壱岐市庁舎建設検討委員会を立ち上げました。

合併特例債の対象期間が5年間延長されたことを踏まえ、市民サービスの向上、事務の効率化、庁舎維持管理経費の削減、施設の老朽化、原子力防災対応など、新庁舎建設について、検討する時期がきていると考え、本委員会を立ち上げたところであります。

学識経験者、各団体等の代表者等、公募委員計17名の委員を選任し、ながさき地域政策研究所研究所長 ^{きくもり} 菊森 ^{あつふみ} 淳文委員を会長に、新庁舎の基本構想案として、新庁舎整備の基本理念、新庁舎の機能及び規模、新庁舎の建設場所、現庁舎の活用等について諮問し、平成26年3月までに答申をいただくこととしております。

交流人口の拡大

(1) 観光振興について

平成24年の観光客延べ数(平成24年観光統計より)は、55万2,395人、対前年比100.9%でありました。また、開館から4年目を迎えた一支国博物館は、本年5月末日現在における来館者数が、36万8,263人となっており、市民皆様をはじめ多くの皆様にご来館いただいております。

本年3月29日に、県の「がんばらんば長崎」地域支援事業にお

いて、壱岐市観光連盟の「壱岐島ごっとり市場プロジェクト」が採択されました。これは、平成25年度から26年度までの2カ年事業で、壱岐の強み（食、歴史、文化、自然）を活かしたこだわりのコンテンツづくり、島民総力によるお客様目線にたった受入体制の構築、壱岐島の魅力をトータルに売り込む誘致戦略などの事業を展開するものであり、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

また、本年4月から販売が開始された「しま共通地域通貨」、通称「しまとく通貨」については、現時点の集計で、関係市町全体で約20,000セットを販売し、壱岐島内では、約3,500セット、換金請求額が1,993万4千円となっております。今後、さらに、しまとく通貨の販売及び利用促進を図るため、大都市圏を中心に情報発信に努めてまいります。

去る5月23日から25日までの3日間、福岡市博多駅の博多口イベント広場において観光物産展を開催いたしました。これは、博多駅リニューアル後2回目の試みであり、夏・秋に向けた誘客施策として実施したもので、当日は、多くの来訪者で賑わい、今後の観光客誘致への効果を大いに期待するものであります

インバウンドいわゆる外国人誘客については、県において、5月1日に10年ぶりに韓国のソウル事務所が開設され、5月13日に行われた記念式典に出席いたしました。同時に、石田町文化協会と交流のある財団法人伝統公演芸術振興財団の理事長や釜山広域市議会議員と、韓国との友好や交流について意見交換を行ってきたと

ころであり、今後、韓国からの誘客も視野に入れ、取り組みを進めてまいります。

壱岐市観光振興計画に基づき、本市の貴重な歴史的資産と豊かな自然景観等を活かした観光振興を基本に、観光、物産をはじめ、あらゆる面において情報発信強化に努め、さらなる交流人口の拡大と壱岐市の活性化に繋げてまいります。

(2) イベントについて

壱岐サイクルフェスティバル2013については、来る6月9日に開催されますが、今回は、島内外から過去最多となる737人の選手がエントリーされ、関係者を含め約1,200人が来島される予定となっております。当日は、一部交通規制等を行いますので、市民皆様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

(3) 地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊については、人口の減少や高齢化の著しい進展に対応するため、都市部の人材を積極的に活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、当該地域への定住定着を促進することを目的に、総務省の地域おこし協力隊制度を活用して、本年度から事業を展開しております。

地域資源を活かした特定の重点分野に業務を絞り込み、4つの業務に4人の隊員を募集したところ、観光振興情報発信に5人、物産

振興商品開発に1人、海女さん後継者に1人、古代米ブランド化支援に4人の合計11人の応募がありました。海女さん後継者については、面接の結果、陸前高田市出身の^{あいくち}合口^{かな}佳奈さんを5月12日付で隊員に委嘱しております。全国的に珍しい海女さん後継者の募集ということでマスコミ等大きな反響を呼び、壱岐市のPRに大きく貢献いただいております。他の3業務についても、近日中に委嘱することとしております。

産業の振興

(1) 農業の振興について

肉用牛については、本年4月の子牛市において、子牛取引価格が、全国3番目の好成績を記録しております。また、6月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が4月市と比較し、1頭当たり1万5千円安の48万4千円となっておりますが、全国的には高い水準を保っております。一方、成牛については、今回の市において、248頭が入場するなど、繁殖農家の減少が危惧されるところであり、今後、抜本的な増頭対策等を推進しなければならないと考えております。

水稻については、平成24年産の米の収量が県下1位を記録するなど、好調に推移しております。また、昨年から本格作付けをしております「つや姫」については、245名、160haの作付けとなり昨年よりも73haの増となっております。

このような中、JA 壱岐市においては、老朽化しているライスセンターの再編整備を行い、新共乾ライスセンターに集約する計画がなされております。このため、新共乾ライスセンター内の乾燥調整施設の整備等により、米の荷受体制の強化と高温耐性品種の拡大による高品質化、地域ブランド米の推進による安定した米価の確保・販路拡大・集落営農の収益確保及び壱岐焼酎用加工用米の供給体制を図るものであり、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

今後も、農業者皆様そして関係機関と連携を図り、農業振興に努めてまいります。

(2) 水産業の振興について

平成24年度の市全体の漁獲高及び漁獲量を、その前年と比較いたしますと、漁獲高が15.98%減の約38億3千4百万円、漁獲量が27.15%減の4,976トンとなっており、漁家及び漁協経営等に大きな影響を与えており、その対策が急務となっております。

特に燃油対策については、喫緊の課題であり、国の制度の創設と合わせ、対応したいと考えております。意欲ある担い手の育成支援事業として、全国初の取り組みである認定漁業者制度については、現在131名の漁業者を認定し、漁業後継者制度については、これまでに9名が本制度を利用され、現在6名が研修を受けております。本制度は、より効率的・計画的な漁業経営の創出と、計画的な漁業

後継者の育成を図るものであり、今後も積極的な活用を期待しております。

また、今回、水産業振興総合対策事業等所要の予算を計上しておりますが、今後も、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携を図り、非常に厳しい状況にある水産業の振興に取り組んでまいります。

市民

(1) 市税等の収入状況について

平成24年度の市税の収入状況は、

現年度分調定額 21億9,891万円

に対し、収入額 21億6,139万円

で、収納率は98.29%(前年度98.06%)

前年度対比プラス0.23%であります。

滞納繰越分調定額 3億1,488万円

に対し、収入額 3,174万円

で、収納率は10.08%(前年度8.57%)

前年度対比プラス1.51%であります。

国民健康保険税は、

現年度調定額 9億2,390万円

に対し、収入額 8億7,464万円

で収納率は 94.67%(前年度94.78%)

前年度対比マイナス0.11%であります。

滞納繰越分調定額 3億4,411万円

に対し、収入額 3,451万円

で、収納率は10.03%（前年度9.49%）

前年度対比プラス0.54%であります。

以上が平成24年度市税の決算収入額であります。

県内の景気の動向は、経済対策の効果などを背景に回復に向かっていると言われております。

しかしながら、本市においては、基幹産業である第一次産業の低迷、雇用の確保等、今なお厳しい状況にあります。

このような状況の中、市民皆様や自治公民館長様の納税活動についてのご理解と特段のご協力を賜りました中で、現年度市税及び滞納繰越分市税・国民健康保険税については、前年度収納率を上回ることが出来ましたが、現年度国民健康保険税については、わずかに前年度収納率を下回る結果となりました。

市税及び国民健康保険税の滞納繰越分については、今後も県税務職員との連携を図りながら差押え等の滞納処分を強力に進め、貴重な自主財源であります市税の確保と公平・公正な税務行政の実現に向けてより一層の努力をいたす所存であります。

引き続き市民皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

（2）介護保険施設等の整備について

第5期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護施

設（グループホーム）1ユニット（9人）と介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）60床の整備計画を進めておりましたが、認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）については、選定事業所である有限会社 ^{げんかんこう}弦観光の「^{さと}壱岐の郷」が本年4月1日からサービスを開始し、現在7名の方が入所されております。

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）については、4月1日に社会福祉法人 ^{はくあいかい}博愛会 が整備予定事業者として決定され、現在、平成26年度中のサービス開始を目指し、社会福祉法人の登記申請、建物実施設計等各種申請の途中であります。

建設用地については、分筆登記等終了後、今議会に財産の無償譲渡の追加議案を提出予定でありますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

（3）予防接種事業について

現在、首都圏、近畿地方を中心に、風しんが流行しており、今後さらに拡大するおそれがあります。風しんの流行拡大と妊娠中に風しんに感染すると胎児に悪影響を及ぼし、先天性心疾患や難聴などの障害を引き起こすことがある先天性風しん症候群の発生を防止するために、妊娠を希望、または予定している23歳以上の女性及び妊娠中の女性の配偶者を対象者として、風しん予防接種費用の一部として3,000円を助成することとし、壱岐医師会のご協力を得て、6月1日から10月31日までの間、実施することとしております。

建設

(1) 安全・安心な住環境づくり支援事業について

市民皆様の生活、住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、本年度から住宅リフォーム支援事業を進めておりますが、5月末現在で91件、予算の執行状況は約70%となっており、多くの皆様が活用されております。また、県単独事業の住宅性能向上リフォーム支援事業が新設されましたので、壱岐市住宅性能向上リフォーム事業として、今回所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(2) 壱岐市公営住宅等長寿命化計画について

「壱岐市公営住宅等長寿命化計画」は、住生活基本計画に定める公営住宅の役割を果たすために、これまでの対症療法型の維持管理から、予防保全型の維持管理への転換を図り、公営住宅の長寿命化によるコスト縮減を図ることを目的として策定するものです。本計画にそって、建て替え、改善、修繕、用途廃止等の適切な手法の選択のもと、予防保全的な維持管理、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を進めてまいりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

教育

(1) 学校教育について

統合された中学校にそろって入学した生徒皆さんが3年生となり、それぞれの中学校の特色が感じられるようになりました。先に開催された球技・剣道の中体連も好試合の連続で、4校体制の良さが十分に発揮され、生徒は充実した学校生活を送っていると捉えております。今後も小学校、中学校の教育活動の充実に努めてまいります。

学校施設の耐震化については、耐震補強工事計画に基づいて年次的に実施しております。平成25年度に予定していた芦辺小学校と芦辺中学校については、補強工事ではなく、改築の方向で対応することにしております。

このような耐震対策の変更を踏まえ、教育環境の整備を早急に図るため、「吉岐市小学校統廃合に関する検討委員会」を設置し、吉岐市の小学校のあり方を含めた協議を進めてまいります。また、芦辺中学校についても「中学校校舎建設検討委員会」を設置し、統廃合の経緯等を踏まえて協議を進めてまいります。

(2) 社会教育について

昭和41年に竣工した勝本地区公民館については、生涯学習、文化活動をはじめ公民館活動の拠点として利用されていますが、築47年が経過し、老朽化が著しいため、これまで国の補助事業の活用等を含め施設整備について、検討してまいりましたが、本年度から、2箇年事業として、起債を活用し整備することとしております。

本年度は、実施設計及び現施設の解体を予定しており、今回、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(3) 長崎がんばらんば国体2014について

国体を想定したリハーサル大会の開催が8月に迫り、鋭意準備を進めております。

8月3日(土)、4日(日)両日には、大谷公園ソフトボール専用球場とグラウンド及びふれあい広場で第61回西日本男子ソフトボール選手権長崎県大会が開催され、県内各地の代表16チームが出場いたします。

また、8月25日(日)には、壱岐市の国体特設周回コースで、第48回全国都道府県対抗自転車競技大会ロードレース(男子6周、女子4周)が開催されます。6月9日開催の壱岐サイクルフェスティバル終了後から、コース上に、のぼり旗の設置や交通規制のお知らせ等PRを行ってまいります。

両大会を間近に控え、本市においても、大会会場の運営をスムーズに行うため、去る5月1日に、長崎がんばらんば国体リハーサル大会壱岐市実施本部を設置いたしました。今後も、競技団体、関係機関等と連携を深め、万全の準備を進めてまいります。

自転車競技大会ロードレースについては、全国大会であり、長時間の交通規制となりますので、市民皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなり、壱岐市消防団、各自治公民館、交通指導員の皆様に

は安全な競技運営のため、立哨をお願いしております。本大会の成功に向け、皆様方のさらなるご理解、ご協力をお願いいたします。

また現在、サルビアなど国体推奨花で島を彩る花いっぱい運動のボランティアや会場での運営ボランティアを募集しております。

今後とも、国体の成功に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係団体をはじめ市民皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

病院事業

(1) 壱岐市民病院について

壱岐市民病院については、本年4月1日から、かたばる病院との機能統合を行うとともに、向原総病院長に就任いただき、一般病床と療養病床を併せ持つ、救急・急性期から慢性期まで総合的な医療サービスを提供する病院として、スタートしたところであります。

長崎県病院企業団への加入に向けた課題解決に引き続き取り組んでいるところでありますが、最大の懸案でありました医師の確保について、本年4月から、内科医4名、外科医1名、整形外科医1名の増員をし、現在、常勤医師14名体制となり、診療体制の充実が図られたところであります。特に、地域医療体制の充実には市内民間病院との連携が重要であり、可能な限り市内で完結できる医療体制の構築を目的として、本年4月から市民病院内に地域医療連携室を設置したところであります。

また、看護体制の充実、強化を図るため、6月1日に、よねき かずみ米城 和美

看護部長を特定任期付職員として新たに採用いたしました。米城看護部長は、国立病院機構熊本再春荘病院看護部長などを歴任され、その豊富な看護現場の経験は、壱岐市民病院の看護機能の充実に大きく活かしていただけるものと考えております。

患者数の動向については、診療体制の充実に伴い、徐々に増加している状況にあります。また、5月からは長崎医療センターの協力により、月1回、第4金曜日に脳神経外科外来を開設しており、壱岐地域の医療向上につながるものと考えております。

今後とも長崎県病院企業団加入に向け、経営健全化の推進を図るとともに、市民皆様に信頼される病院、さらには、市民皆様が安心して暮らせる地域医療提供体制の充実を目指してまいります。

防災・消防・救急

(1) 防災対策について

去る5月19日、新郷ノ浦港埋立地において、47機関・団体、約1,000人のご参加をいただき、平成25年度第54回長崎県総合防災訓練を開催いたしました。

今回の訓練は、本市を中心とした局地的な豪雨、さらには平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震を教訓に、壱岐・対馬近海を震源とするマグニチュード7.0の地震の発生による家屋の倒壊、地滑り、火災等からの被災者の救助等を想定し、自衛隊、警察、消

防など防災関係機関が連携を図りながら、それぞれの活動を実施いたしました。悪天候のため、ヘリコプター等上空からの訓練が一部中止となりましたが、それぞれが緊張感あふれる実践さながらの訓練となりました。今後、さらに各機関・団体が連携強化を図りながら、この訓練成果を今後の災害対応に活かしてまいります。

これから、梅雨も本格的な時期に入ります。市といたしましては、今後も、関係機関と十分連携を図り、災害対策に万全を期してまいります。市民皆様におかれましても、日頃の備え、避難場所の確認等今一度、防災対策の確認をお願いいたします。

また、壱岐市の原子力災害対策については、本年3月に壱岐市地域防災計画（原子力災害対策編）を策定したところでありますが、壱岐市全域いわゆる全島避難については、事前に国や県並びに福岡県、佐賀県等周辺市町村と連携し、広域避難計画を策定するとしておりました。本市といたしましては、かねてから全島避難について、強く要望していたところ、去る5月20日に佐賀県、福岡県、長崎県の危機管理の総括者を構成員とする、「広域的な原子力災害に関するワーキンググループ」の第1回目の会合が長崎市で開かれ、福岡県への受け入れについて了承をいただいたところであります。今後、長崎県と細かな調整・協議を図りながら、広域避難計画の策定に向けて準備を進めてまいります。

（2）消防・救急について

去る5月28日に、壱岐市消防本部庁舎建設工事、消防救急デジ

タル無線システム整備工事、消防指令台整備工事の入札を行いました。契約締結についての議案を今回、提出しておりますのでご審議賜りますようお願いいたします。

また、これから、気温の上昇とともに、熱中症による救急搬送の増加が危惧されますので、ケーブルテレビ等を通じて予防対策について、周知徹底を図ってまいります。市民皆様には、自己管理等十分注意していただきますようお願いいたします。

議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出いたしております平成25年度補正予算の概要といたしましては、

一般会計補正額	12億5,863万8千円
簡易水道事業特別会計補正額	170万7千円

となり、本定例会に提出いたしました補正額の合計は、

12億6,034万5千円

となります。尚、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

220億7,763万8千円

で、特別会計につきましては

103億3,617万円

となります。

一般会計については、地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、

国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」と合わせ、「地域の元気臨時交付金」が創設され、5月末に第1次分として、2億238万4千円の内示がありました。

今後、国の平成24年度補正予算繰越分として、強い農業づくり交付金事業等の追加内示もある予定で、交付限度額の合計を4億2,280万円と見込み、先に説明いたしましたJA壱岐市ライスセンター整備事業など実施することとしております。併せて市の単独事業として、市道・農道等維持補修事業や湯ノ山公園整備事業など、地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、条例の制定及び一部改正に係る案件が専決処分を含め8件、平成25年度予算案件2件、平成24年度予算の専決処分に係る報告案件4件、損害賠償額の決定に関する専決処分の報告5件、繰越明許費繰越計算書の報告案件3件、壱岐市公営住宅等長寿命化計画の作成1件、あらたに生じた土地の確認等の案件1件、工事請負契約の締結案件3件でございます。案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせていただきますのでご了承願います。

何とぞ十分にご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題また緊急に対応しなければならない問題等に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成25年6月5日

壱岐市長 白川博一